

(第6条関係)

事業概要書

	<table border="1"><tr><td>事業名</td><td>人材発掘プロジェクト アーティストバンク事業</td></tr><tr><td>団体名</td><td>NPO 法人リトム</td></tr><tr><td>事業担当課</td><td>経済振興部 文化観光国際課、子ども部 子ども政策課</td></tr></table>	事業名	人材発掘プロジェクト アーティストバンク事業	団体名	NPO 法人リトム	事業担当課	経済振興部 文化観光国際課、子ども部 子ども政策課
事業名	人材発掘プロジェクト アーティストバンク事業						
団体名	NPO 法人リトム						
事業担当課	経済振興部 文化観光国際課、子ども部 子ども政策課						
取り組もうとする松戸市のテーマ (課題)	<p>活動の範囲が市内中心となる、未就学児をもつ家族や高齢者が本物の芸術を間近で体験する機会が少なく、施設への訪問演奏も個人やサークルなどのボランティア活動に頼っている。また、松戸市内で音楽イベントを企画しても、松戸市在住のアーティストを簡単に見つけることができないため、イベントごとに都内や他市からアーティストを派遣している現状がある。</p> <p>近年、ダブルワークや副業など国や企業を中心に多様な働き方が推進されている。その一環として、市民活動としてのアーティスト活動を推進することは意義があり、アートを職業としている人だけではなく、子育てで活動から離れていた主婦や社会人の市民活動への参加も促すこともできる。それは若年層の市民活動への興味関心を高め、松戸市内の人材発掘にもつながる。</p> <p>アーティストバンクに登録する人が増えれば、保育園、幼稚園、高齢者施設、市内のイベント等で良質な芸術を市民が享受する機会を増やすことができる。そこで、経済振興部 文化観光国際課と子ども部 子ども政策課と協働し、松戸市の人材発掘としての「アーティストバンク」の設立を提案する。</p>						
事業の目的	<p>(1) 松戸市在住のアーティストの人材発掘 (2) 主婦や社会人の兼業アート活動の推進 (3) アートの地産地消</p> <p>アートを、音楽、舞踏(ダンス)、演劇、美術、その他の5分類に分け※、松戸市在住のアーティストや、主婦・社会人(アートの勉強や活動をしているところからタイムラグがある人)によびかけて登録をうながす。登録したアーティストに年に1回発表の場を作ることで、市民に間近で芸術を楽しんでもらう。また市内のイベント主催者や企業を招き、交流できる場所を作ることで、アートの活性化につなげる。</p> <p>※公益財団法人 千葉県文化振興財団による「アーティストバンクちば」参照</p>						
事業内容	<p>【1】松戸市のアーティストバンク登録者の公募 文化観光国際課や聖徳大学・聖徳大学短期大学部にご協力いただき、松戸市在住のアーティストに登録をよびかける。さらに「広報まつど」「まつど子育て応援 まつどあ」等での告知、説明会を行うことで広く周知する。</p> <p>【2】年に1回、アートマルシェイベントをおこなう アーティストバンクの周知と、登録されたアーティストの活動の場を広げるため、そして市民へ良質な芸術を届けるために、芸術が鑑賞、体験できる場を作る。</p> <p>① 5月～ アーティストバンク登録者を公募するため、説明会を土日中心に3回実施する。登録いただくためのフォーマットを作成(名前、プロフィール、写真など)。主婦や社会人など兼業アーティストの発掘に注力</p>						

	<p>する。</p> <p>② 6月～ 公募スタート</p> <p>③ 年度内 松戸市市民交流会（すまいる）などの公共施設で登録者によるアートマルシェイベントをおこなう ※子ども向けの体験型アート、大人向けの鑑賞会、高齢者の参加型音楽コンサートなど、幅広い年齢に楽しんでもらえるように企画する。</p>
協働の必要性	<p>①行政には公益性が求められるので、登録後の個々のアーティストの活動支援にまで力を注ぐことが難しい。しかし団体は市と協働することにより、信頼や安心感をもってもらえ、地域住民の協力が得やすくなり、魅力的なアーティストを集めることができる。</p> <p>②「平成 27 年度 協働のまちづくりに関する意識調査報告書」（3. 市民活動の実態と意識 2. 市民活動の関心度より）によると、松戸市在住の 20 代、30 代は市民活動についての関心度が低い。兼業や副業として特技を市内で活かすことができれば、若年層の関心度もあがり、将来的に松戸市の文化活動の発展にもつながると考えている。</p>
事業の目標	<p>【1】松戸市のアーティストバンク登録者の公募 初年度 登録者数 50 人の獲得を目指す</p> <p>【2】年に 1 回、アートマルシェイベントをおこなう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が多彩で上質なアートが体験できるように、5 種類のアートを盛り込む（音楽、舞踏、演劇、美術、その他）</li> <li>・アートマルシェイベントの来場者数 200 人を目指す</li> </ul>

(第6条関係)

## 事業の予算概要

### 【労力換算（限度額算入）】

区分	科 目	金 額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 257,796	

### 【収 入】

区分	科 目	金 額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 28,460	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	イベント参加料	¥ 100,000	500円×200名分
	自己資金の合計額 (B)	¥ 128,460	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 256,140	
	合計額(D)=(B+C)	¥ 384,600	

### 【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 100,000	出演者謝礼
	報償費	¥ 30,000	外部講師謝礼(公募とアートイベントについての相談) 10,000円×3回
	消耗品費	¥ 15,000	コピー用紙、プリンターインク代、会場案内模造紙、アンケート用文房具等
	印刷製本費	¥ 60,000	チラシ印刷(公募用)表裏4C 500部 チラシ印刷(イベント用)表裏4C 1万部 プログラム印刷(イベント用)表裏4C 500部
	委託料	¥ 80,000	グラフィックデザイン費 チラシ2種類(公募用、イベント用)、プログラム
		¥ 80,000	音楽監督業務を外部委託(イベント開催にあたり、兼業アーティストへの音楽の編曲、楽譜作成、練習指導2日間など)
	使用料	¥ 3,500	松戸市市民交流館(すまいる)を2日間使用した場合
	賃借料	¥ 12,000	マイク、プロジェクター等使用料
	通信費	¥ 4,100	アーティストバンク資料請求者へ連絡 82円×50人(予想人数) ※基本的にはメールで送付
		対象経費の合計(E)	¥ 384,600
	その他経費の合計額(F)	¥ 0	
	合計額(G)=(E+F)	¥ 384,600	

### 【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

# 労力換算計算書

(単位:円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×868円
	公募、登録について打ち合わせ	13,888 円	2 人 × 4 h × 2 回 × 868 円
	公募資料制作	8,680 円	1 人 × 5 h × 2 回 × 868 円
	公募説明会実施	7,812 円	1 人 × 3 h × 3 回 × 868 円
	応募プロフィール等をデータ化	52,080 円	3 人 × 5 h × 4 回 × 868 円
	アートマルシェイベント企画案出し、イベント内容まとめ	52,080 円	3 人 × 4 h × 5 回 × 868 円
	イベント会場との打ち合わせ	10,416 円	2 人 × 3 h × 2 回 × 868 円
	出演者10組（仮）と打ち合わせ	34,720 円	2 人 × 2 h × 10 回 × 868 円
	イベント進行確認	15,624 円	3 人 × 3 h × 2 回 × 868 円
	イベント2日間スタッフ業務	41,664 円	3 人 × 8 h × 2 回 × 868 円
	報告書作成	20,832 円	2 人 × 4 h × 3 回 × 868 円
			人 × h × 回 × 868 円
			人 × h × 回 × 868 円
			人 × h × 回 × 868 円
			人 × h × 回 × 868 円
		人 × h × 回 × 868 円	
		人 × h × 回 × 868 円	
		人 × h × 回 × 868 円	
		人 × h × 回 × 868 円	
合 計 (A)	257,796 円		